

天野小学校だより 9月号

本校の教育目標

○心豊かな子・たくましい子・自ら学ぶ子

令和7年9月1日 河内長野市立天野小学校

今月の目標

●あかるく あいさつをしよう

●思いやりのある行動をしよう



秋暑



夏休みはいかがお過ごしでしたか。気温の高い日が続く8月となりましたが、ようやく朝晩の空気に少し和らぎを感じるようになりました。2学期が始まります。たくさんの行事とともに学習ではより深い学びとなります。一つひとつを充実させながら、経験と学びが子どもたちの成長へとつながるよう教職員一同、取り組んで参ります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

《下校時刻・日課表の変更について》 ※水曜日の下校時刻が10分遅くなります。



2学期より、水曜日の校時表を見直し、チャイムのなる時刻を変更いたします。

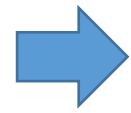
4・5・6年生のモジュール学習では、15分の授業を週3回行い、1週間で45分(1時間授業)とし、河内長野市内小学校で実施されています。

【変更前 朝のスケジュール】

★月曜日：全校朝会

★火・木・金曜日：モジュール学習(4年国語 5,6年英語)

★水曜日：読書タイム



【変更後 朝のスケジュール】

☆月曜日：読書タイム

☆火曜日：全校朝会

☆水・木・金曜日：モジュール学習(4年国語・5,6年英語)

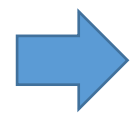
【変更前 水曜日】

朝学習 8:30～8:40 (10分間)

長休み 10:20～10:40 (20分間)

お昼休み 13:00～13:15 (15分間)

帰りの用意 14:55～15:00 (5分間)



【変更後 水曜日】

モジュール学習 8:30～8:45 (15分間)

長休み 10:25～10:40 (15分間)

お昼休み 13:00～13:20 (20分間)

帰りの用意 15:00～15:10 (10分間)

《授業参観・学級懇談会について》

9月12日(金)授業参観があります。全学年5限(13:30～14:15)に授業参観を行い、6限(14:30～15:00)に学級懇談会をおこないます。2学期の子ども達の様子をご覧いただき、その後の学級懇談会にもぜひご参加ください。

*同日、学級懇談会終了後PTA役員・運営委員会があります。



《運動会について》

今年の運動会は、10月19(日)に実施します。昨年度と同じく、昼食は保護者と一緒に食べ、午後2時ごろをめぐりに終了する予定でおこないます。準備は10月17日(金)の午後1時30分頃より行う予定です。運動会準備に参加可能な方はぜひお越しいただき、グラウンドの整備等にご協力いただけたら大変助かります。詳しくは後日お知らせいたします。



《9月自動振替のお知らせ》

振替日は、9月8日(月)ですので、9月5日(金)までにご入金ください。振替金額は、下表のようになっております。振替にご協力賜りますようお願いいたします。

<※PTA費・教材費・積立金は8,9月の2ヶ月分の集金となっています。>

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
振替金額(PTA含む)	6,040円	6,040円	6,420円	8,020円	11,000円	12,000円
振替金額(PTA除く)	5,440円	5,440円	5,820円	7,420円	10,400円	11,400円
アレルギーで牛乳を飲まない場合の振替金額(PTA含む)	5,224円	5,224円	5,604円	7,204円	10,184円	11,184円

《10月の主な行事予定》

1日(水)6年卒業アルバム写真撮影・委員会(5・6年)

9日(木)読み聞かせ

20日(月)振替休日

27日(月)なかよし交流会



2日(木)読み聞かせ

15日(水)全学年5時間授業

21日(火)運動会予備日

28日(火)3・4年遠足

6日(月)5時間授業(1～4年)6限運動会係活動(5・6年)

16日(木)読み聞かせ

22日(水)短縮4時間授業(5年生5時間授業)

29日(水)5年臨海学校説明会・天ちゃん塾

給食 ○=全学年実施 △=実施しない学年がある ×=全学年実施しない

9月の行事予定

日	曜	給食	学校行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	月	×	始業式						
2	火	○	給食開始日・4時間授業(教職員研修のため)						
3	水	○	委員会(5・6年)						
4	木	○	読み聞かせ						
5	金	○	World学習(3年)						
6	土								
7	日								
8	月	○							
9	火	○	全校朝会・二測定(1・2年)						
10	水	○	二測定(3・4・6年)						
11	木	○	読み聞かせ・二測定(5年)						
12	金	○	全学年学習参観(5限)学級懇談会(6限) PTA役員・運営委員会						
13	土								
14	日								
15	月		敬老の日						
16	火	○	全校朝会・学校運営協議会						
17	水	○	クラブ(4・5・6年)クラブ写真撮影(6年) プログラミング出前授業(3年)						
18	木	○	そうじなし校時・読み聞かせ・避難訓練						
19	金	○							
20	土								
21	日								
22	月	○							
23	火		秋分の日						
24	水	○	天ちゃん塾(3年以上希望者のみ)						
25	木	○	読み聞かせ						
26	金	○	避難訓練(予備日)・西中英検(希望者のみ)						
27	土								
28	日								
29	月	○	清潔調べ・5時間授業(1～4年) 6限運動会係活動(5・6年)						
30	火	○	全校朝会・食に関する指導(5年)						

tetoru にて配信

校長室だより



☆2学期のスタートです！

長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。夏休みを振り返ったとき、「もっとこうしておけばよかった。」「早めにあれを終わらせておけばよかった。」などといった思いで、8月31日を過ごした子どもたちもいたことでしょう。7月に目標を立てたことが、どれだけ達成できたのでしょうか？

2学期も、毎日小さな目標を立て、努力することができるといいですね。

元気に登校してきた子どもたちの顔を見ると、「さあ、頑張ろう。」という思いがわいてきます。子どもたちの学校生活が充実したものになるよう、職員一同努力してまいります。ご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

☆阪神タイガース元監督、矢野燿大（やのあきひろ）さんのお話を聞いてきました。

8月に近畿の校長研修が神戸であり、約1600人の小学校の校長の集まる中で、元矢野監督のご講演を聞きました。二軍監督をされていたこともあり、学校教育にもたくさん示唆に富むお話でした。

「心×行動＝結果」

特に心、出来事よりとらえ方が大切だと、ピンチはチャンスだととらえ、可能性を信じて頑張ることが大切だと話されていました。

1軍で活躍することをあきらめさせない指導、チャレンジする指導もされていて、2018年の2軍での盗塁成功数は圧巻でした。2軍での選手の寿命は約7年で、ユニホームを脱いだ後も矢野監督でよかったといわれるように、野球以外での仕事に就くことを想定して、野球だけでなく、社会でも通用する指導をされていたそうです。

現役時代のお話もあり、星野監督からしかられないようにしていた時は、成績が伸びなかったそうです。その経験から、わざとノーサインで選手自身が考える指導をされていたようです。自分で考えることはとても大切ですね。



現在は、子どもたちへの指導もされているようで、友だちと喧嘩したと相談があったときは、自分から謝るチャンスやんのご指導されているようです。何かあった後がほんとに大切ですね。気持ちを切り替えて次に行くことが・・・。

☆戦後80年

私が子どものころは、先生や両親が戦争を体験しており、戦闘機から機銃掃射を受けた話や疎開していたこと、物がなく貧しかったことなど直接大人から聞く機会がありましたが、今は戦争体験をされた方がご高齢となり、聞く機会がほとんどなくなりました。

世界がきな臭くなった今、子どもたちもしっかりと平和について考えるべきだと思います。

8月の広報で、緑ヶ丘在住の方が語っておられました。ご連絡したところ快く引き受けてくださいました。5年生が、国語、総合学習の一環でお話を聞くこととなりました。お近くの方でお話を聞けるのは貴重です。大切な時間にしたいものです。



☆意欲を引き出すには

「叱らない時代の指導術」島沢優子著を書店で見かけ、思わず衝動買いをしてしまいました。昭和な指導から、現代の指導へ転換された成功例がたくさん取り上げられていて、大変参考になりました。そこから、一つ引用して紹介します。

ある子どもたちを指導するサッカーチームが取り組まれた例です。

意欲を引き出すには自立させることが重要だと考え、試合の際は保護者の引率をなくして子どもたちが自分で電車を乗り継ぐ現地集合に転換した。子どもが道に迷ったり、電車を間違えて試合に遅れても叱らず継続させた。親から「行くよ」と言われて連れられて来られるのではなく自分からサッカーを求める環境に変えた。

すると、試合に必要なものを自分で準備するようになったうえ、「やる気に溢れ、プレーにも主体性が生まれた」。自分の力で試合会場まで辿り着くという達成感。時間を逆算して次に何をやるべきかを考える習慣。それらが子どもを成長させたのだ。

このほか、たくさんの方に取り組まれています。

子どもたちに与えすぎない、教えすぎない。何を教えるか吟味しなくてはいけないなと思いました。

